

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス まはる戸田		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 6日		～ 令和 8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 21日		～ 令和 8年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースの広さと環境および活動内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊びと集団活動を設けメリハリのある時間を設定し自由遊びは、好きなもの好きなことで遊び自由に過ごせるよう配慮に努めています 自由に過ごす時間を設けることで、集団活動に意識が持てるよう支援を行っています 季節感を感じられる活動を取り入れています 集団活動の内容が固定化されないよう、提示方法やルールを変えて提供しています 	<ul style="list-style-type: none"> 自由に過ごせる環境の整備と児童の嗜好の探求に努めます 集団活動の内容を継続することにより、ルールや方法の理解に繋がるよう支援を行います
2	幅広い異年齢児童の交流	<ul style="list-style-type: none"> 小学1年生から高校3年生まで年齢や発達段階の違いはあっても成長とともにそれぞれの役割が持てるよう支援を行っています 活動や自由遊びを通して互いを思いやり助けられる児童同士の関りが持てるよう支援を行っています 	<ul style="list-style-type: none"> 集団で得られる協調性や社会性を個々の発達段階に応じて支援が提供できるよう、集団中の支援方法や対応のさらなる充実を図っていきます
3	職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼での利用児童確認や前日の利用者の様子等(特記事項)を全員で共有することで、支援員一人ひりが役割を持ち支援を行っています 人員的に少なくても、効率よく支援が提供できるよう臨機応変な対応を行っています 利用児対応は担当制(毎日担当は替える)にすることで、支援すべき役割が明確となり偏りのない支援の提供が行えている 	<ul style="list-style-type: none"> 現状を維持しながら継続していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域参加や地域の子どもの交流	<ul style="list-style-type: none"> 外出できるだけの人員が確保できていないこともある 通常支援時間では時間的に難しいが、近隣の公園へは外出することもあり、地域の子どもたちと同じ空間で遊ぶ機会はある 	<ul style="list-style-type: none"> 少数人数で外出できる体制の構築を図る 土曜日にはコンビニ等への昼食買い物を実施し地域の店舗を利用し交流は図っているが、長期期間中などの一日支援時に地域のイベント等へ参加し地域との関わりを持てるよう取り組んで行く
2	保護者会や兄弟等への支援	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での行事にはご希望があれば参加していただいている 今年度は2回実施。いずれも事業運営についての話となった 	<ul style="list-style-type: none"> 行事参加等については、積極的のお知らせを行う
3			